

## ボランティアの皆さん今年度も お世話になります ～福祉連絡会～



福祉活動の様子を確認しました

4月20日、日高交流センター2階1号室において、日高学区市民自治会社会福祉委員会の連絡会が開かれました。おもちゃライブラリーなどの子育て支援事業、にこにこクラブ・ふれあいサロン・見守り支援などの高齢者等支援事業、おんもさ祭り・敬老会・鳥追い祭りなどのイベント支援事業を支えるボランティアの方36名が参加しました。

連絡会では、事業報告と事業計画について

### 日高俳句会より寄付

この程、日高俳句会より

確認しました。特に、ボランティア推進部では、今年度より、再生資源回収困難者宅のボランティア回収事業の発足や困りごとお助けボランティア隊の検討を進めていく予定です。必要な会議を重ね、活動内容が具体化されるよう期待されています。

福祉総務部、安心ネットワーク部、ふれあい事業部は、新型コロナウイルス感染症の規制措置緩和に伴い、コロナ禍で規制を受けていた活動が緩和されコロナ禍前の日常に近づくことで、人々がふれあえる事業の再開にも期待感が高まっています。

## あの人の人

小木津町  
阿部 一夫さん  
(70歳)



### ～経験から学ぶ～

日高学区市民自治会広報部をこの度退任した、阿部一夫さんは若手県一関に生まれ県立一関第一高校、山形大学工学部卒業後旧日立電線に入社。最初は製造現場に従事し、退職に至るまで送電線、銅溶解製造から電線、複合金属、配線部品製造等各種工程や管理部門にも携わりました。

また米国(サンフランシスコ近郊)に3年、中国(深圳、香港)に6年半海外赴任を勤務されたそうです。この英語圏、漢語圏2つの異なる異文化社会に接し、様々な経験をされたことは、外から日本を見直す機会と併せて、私の人生に於いて得ることが多くこの上ない幸せであったと話していました。

平成26年から自治会活動に参加し9年間活動できた

のは、会社時代の同僚、先輩、後輩が多く自治委員として活動していたので私としては心強く、充実した時間を送らせてもらい感謝していますと話していました。

又阿部さんの故郷一関市の隣は奥州市、名刈中尊寺と毛越寺は幼稚園、小学校の遠足コースでした。なおこの地方には餅文化が古くからあり帰省時は必ず数種類の餅を食べるのが楽しみだそうです。

趣味としては、秘湯巡り、ゴルフ、蕎麦打ち、そして中国で覚えかけた漢語の手習い等を遊び半分で楽しんでいるとのことでした。

(佐藤 賢一)

### スポーツ協会から表彰 永年のスポーツ功労

2月25日、池の川さくらアリーナで開かれた(公財)日立市スポーツ協会主催の設立30周年記念式典・令和4年スポーツ表彰式で、次の方が表彰されました。

志賀 良平  
設立30周年記念感謝状  
(20年以上の功労者)

根本 伸一  
令和4年スポーツ奨励賞

### 日高小学校加古さんがダブル受賞

日高小学校6年の加古瑠莉那さんは、昨年日本郵便が主催した「第55回手紙作文コンクール」において、生シラス丼を食べた際の感動を祖父母あての絵手紙にした作品が最高賞の文部科学大臣賞を受賞しました。



## 東連津

ついに、4年ぶりに日立さくらまつりが開催されました。

日本のさくら名所100選にも選ばれている平和通りのさくら満開。好天にも恵まれ、さくらのトンネルには2日間で延べ55万人が訪れました。久しぶりの太鼓や笛の音色に、地元飲食店の出店等もあり、来場者は日立

### 日高おんもさ祭りに期待!!

日高町 佐藤 匡広

さくらまつりを満喫されていました。地域を閉塞感で包んだコロナ禍を経て、待ちに待った市を代表するイベントが無事開催されたことを受け、市内各地域で、これまで以上に、より活気ある行事が開催されることと思います。

特に、すべての年代層が一致団結し、地域が一体となる日高おんもさ祭りを、今から期待しております。

### わがまちの桜 日高交流センターの桜

「日立紅寒桜」や「おぎつやよい」などの日高交流センターの桜は、日立市内の桜の名所「わが町の桜23選」の一つに選ばれました。

日高交流センター前広場にあり、自由に見花が出来ます。今年の春も自治会員有志の皆さんの手ではんばりが飾られ、昼間のみならず、夜桜を綺麗に映し出していました。



シンボルの日立紅寒桜

### 編集後記

コロナ禍の影響が続く中で、日高市民自治会総会が、多くの役員や幹事により開催され、今年度の事業計画などが承認され令和5年度がスタートした。この役員での特色は、広報部幹事として3名が入部した事である。マンネリ化しつつある紙面に、新風を吹き込ませ、地域住民から愛される広報紙と期待したい。

(菊地)